



2023年9月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年8月14日

上場会社名 BBDイニシアティブ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5259 URL https://bbdi.co.jp

代表者（役職名） 代表取締役社長 グループCEO（氏名） 稲葉雄一
 問合せ先責任者（役職名） 取締役 グループCFO（氏名） 佐藤幸恵（TEL）03-5405-8120
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）
 （百万円未満切捨て）

1. 2023年9月期第3四半期の連結業績（2022年10月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	2,651	—	116	—	106	—	82	—	82	—	85	—
2022年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益							
	円 銭		円 銭		円 銭		円 銭		円 銭		円 銭	
2023年9月期第3四半期	15.93		15.86		—		—		—		—	
2022年9月期第3四半期	—		—		—		—		—		—	

四半期連結経営成績に関する注記

当社は2023年4月3日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績および対前年同四半期増減率の記載は行っていません。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	3,747	1,139	1,139	—	1,139	30.4	—	—
2022年9月期	—	—	—	—	—	—	—	—

四半期連結財政状態に関する注記

当社は2023年4月3日に単独株式移転により設立されたため、前期実績はありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—	0.00	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

配当の状況に関する注記

当社は2023年4月3日に単独株式移転により設立されたため、前期および当第2四半期までの実績はありません。

3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

連結業績予想に関する序文

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	3,834 ～4,071	—	213 ～249	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は2023年4月3日に単独株式移転の方法により設立されたため、対前期増減率の記載は行っていません

2023年9月期の連結業績予想については、レンジ形式により開示しております。なお、業績予想に関する事項、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年9月期3Q	5,276,221株	2022年9月期	一株
2023年9月期3Q	200株	2022年9月期	一株
2023年9月期3Q	5,199,060株	2022年9月期3Q	一株

発行済株式数に関する注記

当社は2023年4月3日に単独株式移転により設立されたため、前期実績および前年同四半期実績はありません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

1. 当社は2023年4月3日設立のため、前連結会計年度以前に係る記載はありません。
2. 当四半期連結会計期間は、当社設立後最初の四半期連結会計期間ですが、「第3四半期連結累計期間」として記載しております。
3. 第1期第3四半期連結累計期間および第1期第3四半期連結会計期間の要約四半期連結財務諸表は、単独株式移転により当社の完全会社となったナレッジスイート株式会社(株)の要約四半期連結財務諸表を引き継いで作成しております。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料はTDnet及び当社ウェブサイト(株)に同日開示しています。また、2023年8月22日(火)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日資料する決算説明会資料は、当社ウェブサイト(株)に掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は2023年4月3日付で単独株式移転により設立され、当第3四半期連結累計期間より第1期として初めて要約四半期連結財務諸表を作成しておりますが、従前のナレッジスイート株式会社(以下「ナレッジスイート」という。)の連結グループの範囲に実質的な変更がないことから、ナレッジスイートの2022年9月期第3四半期連結累計期間(2021年10月1日から2022年6月30日)および同連結会計年度末(2022年9月30日)を比較情報として用いております。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年10月1日～2023年6月30日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束と社会経済活動の正常化の動きが見られたものの、資源・原材料価格の高騰と物価上昇、急激な為替変動などによる経済活動への影響が懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

一方で新型コロナウイルス感染症対策を契機としたテレワーク等働き方改革が加速し、デジタルトランスフォーメーション(DX)への機運の高まりによる営業DX化が中堅・中小企業においても徐々に浸透してきており、また生産労働人口の減少に伴うIT人材不足への懸念が増している状況において、当社グループの提供サービスへの需要は、より一層高まっているものと認識しております。

このような状況下において、当社グループは2023年4月3日より組織再編に伴う新たに掲げた「ありがとうをX-Tech(クロステック)する」を経営理念に、「Digital Inclusion(デジタルインクルージョン)～テクノロジーを通じて、世界中の人々が参加し、平等に利益を受ける機会を提供することで社会に希望を与える～」をビジョンに掲げ、再スタートしました。また、2022年9月期を初年度とする「中期経営計画2024」の達成に向け、成長戦略である「事業収益(シェア)拡大」及び「プロダクト・サービスの強化」を引き続き推進してまいりました。

具体的には、企業の売上・生産性向上への貢献を可能にする統合型SFA/CRMクラウドサービス「Knowledge Suite(ナレッジスイート)」を中心とした中堅・中小企業向けSaaSシェア拡大、サブスクリプションビジネス拡大のため、営業体制強化へ向けた組織再編及び新人育成強化、サービス利用継続を促進するカスタマーサクセス推進を実施してまいりました。また、2022年10月に開始したタレントテック事業における有名タレントの写真素材をサブスクリプションで提供し、企業のブランディング活動やPRを支援する広告体験サービス「ビジネスブースト」の拡販を推進してまいりました。また、マーテック事業の主力サービスであるBtoB営業リスト作成サービス「Papattoクラウド(パパットクラウド)」とともに、リードジェネレーション(見込み顧客発掘)領域における企業のDX化を推進してまいりました。さらにIT人材不足を背景としたIT人材を提供する「システムエンジニアリングサービス(SES)」の販売体制強化を推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上収益は2,651,625千円(前年同期比10.7%増)、営業利益は116,232千円(前年同期比44.4%増)、税引前四半期利益は106,474千円(前年同期比52.7%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益82,819千円(前年同期比17.6%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① DX事業

当第3四半期連結累計期間においては、販売パートナーの新規開拓活動及び深耕活動による拡販支援、効率の高い展示会への積極的な参加等によるマーケティング・プロモーション活動を引き続き注力しつつ、新たに立ち上げたインサイドセールス体制の強化による、リード(見込み顧客)獲得の拡大を図るなど販売チャネル強化を進めてまいりました。

また、「Knowledge Suite」と高い相乗効果を発揮するBtoB営業リスト作成サービス「Papattoクラウド」等、グループ会社及び提携先パートナーによるRPAサービス等の同時提案やクロスセルといった取り組みを推進し、「ビジネスブースト」の利用企業の拡大が進み始めたことで、SaaS売上収益は前年同期比31.3%増、グループSaaSARR(※1)は1,541百万円となりました。

これらの結果、売上収益は1,289,330千円(前年同期比19.4%増)、セグメント利益は292,921千円(前年同期比64.6%増)となりました。

※1 グループSaaSARR: 2022年12月末時点のOEMを除く当社及び当社グループが提供する全てのSaaSにおける各四半期末時点のMRRの12倍で算出。

A R R は Annual Recurring Revenue の略。年次経常収益。

M R R は Monthly Recurring Revenue。月間経常収益。

② B P O 事 業

当第3四半期連結累計期間においては、引き続き高いIT人材需要を背景に積極的な営業活動を進めたものの、IT人材不足による新規開発プロジェクト案件における機会損失が発生し、SES売上収益は前年同期比4.7%増となりました。

これらの結果、売上収益は1,362,295千円(前年同期比3.6%増)、セグメント利益は184,838千円(前年同期比10.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は1,151,613千円となり、前連結会計年度末に比べ95,900千円減少しました。これは主に、現金及び現金同等物の減少104,115千円、その他の流動資産の減少43,950千円、営業債権及びその他の債権の増加50,312千円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の非流動資産は2,595,392千円となり、前連結会計年度末に比べ411,710千円増加しました。これは主に、使用権資産の増加257,146千円、無形資産の増加149,427千円によるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の資産合計は3,747,006千円となり、前連結会計年度末に比べ315,810千円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は1,590,095千円となり、前連結会計年度末に比べ75,261千円増加しました。これは主に、契約負債の増加59,923千円、リース負債の増加33,926千円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の非流動負債は1,017,071千円となり、前連結会計年度末に比べ124,235千円増加しました。これは主に、リース負債の増加220,193千円、有利子負債の減少96,079千円によるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は2,607,167千円となり、前連結会計年度末に比べ199,497千円増加しました。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末の資本は1,139,838千円となり、前連結会計年度末に比べ116,313千円増加しました。これは主に、四半期利益の計上による増加82,819千円、新株の発行20,980千円によるものであります。

これらの結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末に比べ0.6ポイント増加し、30.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期第3四半期会計期間につきましては、2024年9月期を最終年度とする「中期経営計画2024」の達成に向けて、成長戦略である「事業収益(シェア)拡大」及び「プロダクト・サービスの強化」を引き続き推進し、概ね計画通りに進捗しております。

2023年9月期通期の連結業績予想につきましては、中期経営計画の達成に向けた成長戦略に基づき、経済動向や事業環境、投資機会を勘案した機動的かつ柔軟な先行投資と当期より開始しましたDXセグメントにおける新たなタレントテック事業の開始を起点とした成長ドライバーをより一層加速させるため、投資家の皆様に対してより有用かつ合理的な情報提供を行う観点から、レンジ方式による通期業績予想開示を採用しています。

以上から、連結売上収益は3,834~4,071百万円(前年同期比18.5%~25.9%増)、営業利益213~249百万円(前年同期比74.0%~103.0%増)とし、中期経営計画の業績目標を据え置いた数値計画としております。

なお、上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、感染症収束に伴う経済活動の回復に要する期間等の様々な要因によって、実際の業績は予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	注記	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	12	618,843
営業債権及びその他の債権	12	480,044
棚卸資産		935
その他の金融資産		3,255
その他の流動資産		48,534
流動資産合計		1,151,613
非流動資産		
有形固定資産		54,830
使用権資産		451,197
のれん		628,060
無形資産		1,256,950
その他の金融資産	12	103,478
繰延税金資産		100,874
非流動資産合計		2,595,392
資産合計		3,747,006

(単位：千円)

	注記	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	12	166,454
契約負債		91,047
有利子負債	12	1,027,033
リース負債		126,709
未払法人所得税		24,878
その他の流動負債		153,973
流動負債合計		1,590,095
非流動負債		
有利子負債	12	656,631
リース負債		301,880
引当金		39,401
繰延税金負債		19,158
非流動負債合計		1,017,071
負債合計		2,607,167
資本		
資本金	9	734,016
資本剰余金	9	258,122
利益剰余金		147,567
その他の資本の構成要素		132
親会社の所有者に帰属する持分合計		1,139,838
資本合計		1,139,838
負債及び資本合計		3,747,006

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	注記	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上収益	6, 7	2, 651, 625
売上原価		1, 479, 769
売上総利益		1, 171, 855
販売費及び一般管理費		1, 057, 963
その他の収益		5, 070
その他の費用		2, 730
営業利益	6	116, 232
金融収益		3
金融費用		9, 761
税引前四半期利益		106, 474
法人所得税費用		23, 654
四半期利益		82, 819
四半期利益の帰属		
親会社の所有者		82, 819
四半期利益		82, 819
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	10	15.93
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	10	15.86

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	注記	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期利益		82,819
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融商品		2,665
その他の包括利益合計		2,665
四半期包括利益		85,484
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者		85,484
四半期包括利益		85,484

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

当第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

注記	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素		
2022年10月1日残高	700,696	260,806	64,747	△192	△2,533	1,023,525	1,023,525
四半期利益	—	—	82,819	—	—	82,819	82,819
その他の包括利益	—	—	—	—	2,665	2,665	2,665
四半期包括利益合計	—	—	82,819	—	2,665	85,484	85,484
新株の発行	10,490	10,490	—	—	—	20,980	20,980
株式移転による増減	△10,490	10,490	—	—	—	—	—
自己株式の消却	—	△192	—	192	—	—	—
株式報酬取引	33,320	△23,471	—	—	—	9,848	9,848
所有者との取引額等合計	33,320	△2,684	—	192	—	30,828	30,828
2023年6月30日残高	734,016	258,122	147,567	—	132	1,139,838	1,139,838

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 注記 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期利益 (△は損失)	106,474
減損損失	218
減価償却費及び償却費	234,442
金融収益	△3
金融費用	9,761
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,402
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△50,312
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	9,621
契約負債の増減額 (△は減少)	59,923
その他	27,467
小計	398,994
利息の受取額	3
利息の支払額	△9,947
法人所得税の支払額	△32,288
法人所得税の還付額	5,074
営業活動によるキャッシュ・フロー	361,836
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,704
無形資産の取得による支出	△273,865
その他	△13,019
投資活動によるキャッシュ・フロー	△288,589
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	32,506
長期借入金の返済による支出	△229,518
社債の発行による収入	98,090
リース負債の返済による支出	△99,421
株式の発行による収入	20,980
財務活動によるキャッシュ・フロー	△177,362
現金及び現金同等物の減少額	△104,115
現金及び現金同等物の期首残高	722,959
現金及び現金同等物の四半期末残高	618,843

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

当社グループは、経営組織の形態、製品・サービスの特性及び販売市場の類似性に基づき、複数の事業セグメントを集約した上で、「DX事業」及び「BPO事業」の2つを報告セグメントとしております。

「DX事業」は、営業活動の可視化、営業活動の自動化を目指す法人向けマルチテナント型クラウドサービスとして開発した統合型営業・マーケティング支援SaaSの開発・販売及び顧客企業のカスタマーサクセスへ導く導入支援サービスを提供することで、中堅・中小企業のDXを支援する事業を展開しております。

「BPO事業」は、主に企業のマーケティング課題・システム課題を解決支援するWEBマーケティング支援、各種システムの受託開発・保守及び顧客企業へのシステムエンジニアリング（IT人材リソース）を提供するビジネスプロセスアウトソーシング事業を展開しております。

(2) 報告セグメントの収益及び業績に関する情報

報告セグメントの収益及び業績に関する情報は、次のとおりです。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

	(単位：千円)				
	DX事業	BPO事業	合計	調整額	要約四半期 連結損益計算書 計上額
売上収益					
外部顧客からの売上収益	1,289,330	1,362,295	2,651,625	—	2,651,625
セグメント間の売上収益	7,853	39,292	47,146	△47,146	—
合計	1,297,184	1,401,587	2,698,771	△47,146	2,651,625
セグメント利益	292,921	184,838	477,759	△361,527	116,232
金融収益					3
金融費用					9,761
税引前四半期利益					106,474

(注) 1. セグメント間の取引は市場実勢価格に基づいております。

2. セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。

3. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。